

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科		
科目名称	栄養教育論実習Ⅰ						授業形態	実習	
科目コード	303100	単位数	1単位	配当学年	3年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	渡邊 純子								
授業概要	<p>2年・3年次の座学で学ぶ栄養教育の専門的知識の基本を用い、各対象者への栄養教育の方法を学内で実践し、体得させることを目的とする。</p> <p>特に実習Ⅰでは、栄養教育マネジメントにそって、対象者の系統的アセスメントの実習を行った上で、面接や栄養カウンセリングの実際についてもポイントを踏まえ、専用の栄養カウンセリングコーナーを用いて実習する。</p> <p>各ライフステージに合わせたアセスメント・教育計画立案・栄養教育実施に向けた教材（課題解決のためのメニュー・レシピ作成含む）の製作などを各グループで実習することにより、行動変容を促すための、より効果的な栄養教育の方法を体得するよう行う。</p>								
関連する科目	調理学・調理学実習、食事計画論・食事計画論実習、栄養教育総論・栄養教育各論Ⅰ・Ⅱを事前に、履修後は、栄養教育論実習Ⅱを履修して、栄養教育に関連する幅広い知識と技術の習得を目指す。								
授業の進め方 と方法	主体的な取組みを促すため、専用の栄養カウンセリングコーナーなどアクティブラーニングの設備が整った栄養教育実習室で行う。常時、グループワーク形式で課題解決に取組み、グループワークにて協議した内容はプレゼンテーションにて報告する。専門技術習得のため、グループ内の課題に対する共有と協働作業が必要なため、できる限り欠席等のないようにすること。								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 「栄養教育論実習の概要について」								
授業計画 【第2回】	「栄養教育に必要な系統的アセスメントの実際①～身体面」 栄養教育マネジメントにおける全人的なアセスメントの実際の方法を学ぶ。								
授業計画 【第3回】	「栄養教育に必要な系統的アセスメントの実際②～行動面」								
授業計画 【第4回】	「栄養教育に必要な系統的アセスメントの実際③～心理・社会面」								
授業計画 【第5回】	「ライフスタイルに合わせた栄養教育の方法と実際」								
授業計画 【第6回】	「ライフステージに合わせた栄養教育の方法と実際」								
授業計画 【第7回】	「栄養教育における初回面接と実習① シナリオ作成」 栄養教育における面接・カウンセリングを実際に実習する。								
授業計画 【第8回】	「栄養教育における初回面接と実習② ロールプレイ」								
授業計画 【第9回】	「栄養教育における初回面接と実習③ 評価」								
授業計画 【第10回】	「 集団対象の栄養教育～ライフステージ別の栄養教育全体計画の策定①」 実際の対象者を設定して全体計画・指導案まで作成する。								
授業計画 【第11回】	「集団対象の栄養教育～ライフステージ別の栄養教育全体計画の策定②」								

授業計画 【第12回】	「集団対象の栄養教育～具体的な教育案の作成・教材の作成①」 教材の一つとして対象の課題解決に向けたメニュー作成を実習する。
授業計画 【第13回】	「集団対象の栄養教育～具体的な教育案の作成・教材の作成②」
授業計画 【第14回】	「ライフステージに合わせた栄養教育全体計画の発表・質疑応答」
授業計画 【第15回】	栄養教育論実習に関するまとめ
授業の到達目標	・栄養教育を行うに当たっての基本的な知識やスキルを身につける【知識・理解の育成】。 ・各教科で学んだ栄養教育に関する知識を実際の指導の中で活用することができるようになる。 【態度・志向性の育成】 【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	次回の実習範囲について予習する（1時間）。
授業時間外の学修 【復習】	人の行動変容の支援に関する実習の中から得た知識や認識・技能を復習する（1時間）。
課題に対する フィードバック	実習全体を通じた課題レポートは評価後、返却及び解説をする。
評価方法・基準	以上の結果を総合して評価する。 1) 課題レポートの内容および提出状況60点 2) グループ学習・実習等授業への取り組み 状況（実習態度、理由のない遅刻・早退 含む）40点
テキスト	『栄養教育論演習 第2版』岡崎光子・饗場直美 編著 健帛社（2310円）
参考書	健康・栄養科学シリーズ『栄養教育論』丸山千寿子・足達淑子・武見ゆかり 編集 南江堂 『行動変容のための面接レッスン 行動カウンセリングの実践』足達淑子著 医歯薬出版 『ライフスタイル療法』第4版 生活習慣改善のための行動療法』足達淑子著 医歯薬出版 ほか適宜紹介する。
備考	管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、実践的栄養教育に必要な知識や技術について講義を行う。 各ライフステージの対象者における健康栄養上の課題や課題解決のための栄養教育について、理論に加え、豊富な実例を交えた授業を行う。